

千電協会報



千葉県電業協会
一般社団法人 2023. 1 第49号



目次

(敬称略)

● ご挨拶

会 長	細 矢 充
千 葉 県 知 事	熊 谷 俊 人
千葉県県土整備部営繕課 課長	小 杉 暢
(一社)日本電設工業協会 会長	山 口 博

● 1年を振り返って

- ・第60回通常総会、懇親会
- ・地区別会員交流会
- ・三県連絡会議
- ・千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」
- ・委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

● 寄稿文

「地域に喜ばれる仕事を目指して」	榎本電機(株)	鈴木 孝
「健康維持への取り組み」	(株)鎌田電機	鎌田 浩茂
「日本電設工業協会・ 会員大会(千葉)を終えて」	(株)友信電気	五十嵐 治美

● 新入会員紹介

(株)サンデン工業 太陽電設(株)

● 会員消息

● 会務報告

● 総会日程案内

● 協会役員

● 組織構成

● 会員名簿

● 編集後記



(表紙等の写真)
犬吠埼灯台(銚子市)
当協会事務局・提供

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長

細 矢 充

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

おかげ様で当協会は昨年、設立60年の節目を迎えることができました。改めて、皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

昨年の電気設備業界を取り巻く環境を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大の継続、ウクライナ情勢に伴う資機材や原油価格の高騰、歴史的に急激な円安に伴う物価上昇などが、国内においても社会全般に大きな影響をもたらし、経済活動は縮小傾向にあると感じております。

また、近年は人命を脅かす大震災や台風や大雨など自然災害が多発し、安全・安心の暮らしを守ることが強く求められています。千葉県においても、令和元年房総台風の甚大な被害の教訓から、熊谷知事は電気の重要性を再認識され、『電力強靱化計画』を打ち出しました。万が一の際、最も大事なこととして「電源確保」があります。ここ数年は常に再生可能エネルギー、省エネルギー、発電・蓄電設備などが求められており、「電気無くしてエネルギーは語れない」というほどの存在感を持っております。

当協会は、平成15年4月に千葉県と地震や風水害に関する災害協定を締結しており、緊急時使用車両・資機材等のリスト作成・備蓄や、災害を想定した連絡出動等の訓練・講習を県各機関と合同で行うほか、震度5強以上の地震が発生した時には県民のライフラインを守る重要施設を巡回しています。

また、電気設備業を生業としている当会員112社は、インフラ整備や省エネ、カーボンニュートラルの実現に向けた大きな責任と役割を担っております。今後も強靱な経営体

質を持ち、事業継続計画で自身の身を守り、即座に地域に貢献できる技術者集団を目指す所存です。

しかしながら、私ども建設業界は、少子高齢化対策や労働環境整備の遅れから、慢性的な担い手不足、人材不足に陥っています。

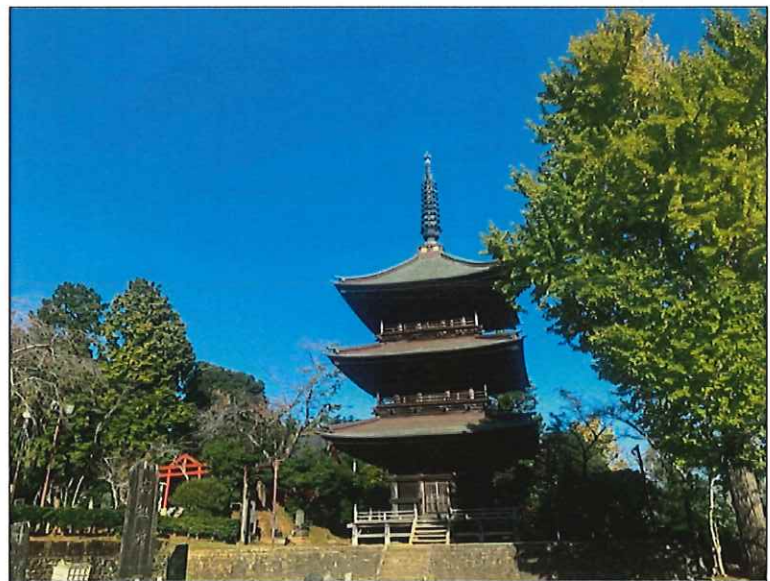
人材確保が企業と業界の存続の鍵を握ることから、新卒者や若者、女性や外国人など、老若男女・国籍を問わず、新たな担い手の採用を積極的に行い、技術者の育成、技能者の確保が不可欠です。

新たな担い手の入職とDX（デジタルトランスフォーメーション）でより魅力ある業界へ変革できると期待を寄せていると共に、機械化、デジタル化を進めて生産性を高め、IoT、人工知能、仮想空間を活用した業務の改革、若き担い手を育てる機会になると信じています。

従来の信用の技術力に磨きをかけ、新たな担い手の確保により、我々電気設備業界に吹く逆風を上昇気流に変える変革期と捉えています。

当協会に変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年にあたり、国家間の諍いや感染症の終息、想定外の災害が起こらないことを願うとともに、皆様のご安全を心からお祈り申し上げます。

本年もよろしく願いいたします。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

熊谷 俊 人



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日頃より、皆様には、電気工事業に関する知識の普及・啓発、電気技術の向上等に積極的に取り組まれるなど、本県の電気業界の健全な発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応や、原油価格・物価の高騰などの課題に全力で取り組みました。今年は、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、将来を見据え、様々な分野で未来への投資を行っていきます。

防災面では、貴協会と「災害応急対策に関する業務協定」を締結しており、関係機関との連携の充実強化を進めて災害対応力を向上させるとともに、インフラの強靱化などにより「日本一の防災県」を確立していきます。

経済面では、経済産業活動の回復と更なる活性化を図るため、今年度中に第5次ちば中小企業元気戦略を策定します。さらに、広域交通網や豊かな自然など、本県の優位性を最大限に活用し、戦略的な企業誘致や観光振興などを図ります。

一方、地方創生の実現に向け、デジタル技術の活用による暮らしや仕事、産業など社会全体の変革を推進するほか、二地域居住などへの関心が高まっていることから、豊かな自然の中で自分らしく暮らすことができる、千葉ならではのライフスタイルの魅力を発信します。

県内の活力を一層活性化していくための社会インフラの整備に関しては、首都圏中央連絡自動車道の全線開通や、北千葉道路の早期整備、富津館山道路の4車線化に取り組むとともに、その整備効果を波及させるためアクセス道路の整備を進めます。また、成田空港第3滑走路等の整備や、「新しい成田空港」構想の検討に合わせて、地域と空港の発展が

好循環する地域づくりを推進します。

そして、持続可能な社会を次世代へ引き継いでいくため、SDGsの考え方を踏まえた施策を推進するとともに、一人ひとりが違った個性や能力を持つ個人として尊重され、社会に参画し、誰もがその人らしく活躍できる環境づくりを推進します。

また、「2050年カーボンニュートラル」に向けては、温室効果ガスの排出量削減だけでなく、イノベーションなどの施策を推進し、環境保全と経済成長の好循環を生み出せるよう取り組んでいきます。

今年は、千葉県が誕生してから150周年を迎える節目の年です。ぜひ、各地の記念行事に足を運んでいただき、これまでの歩みを振り返るとともに、未来の千葉県に思いを馳せていただきたいと思います。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

小 杉 暢



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人千葉県電業協会及び会員の皆様には、日頃から千葉県の営繕事業の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響長期化や資材価格高騰など厳しい事業環境の中、公共工事の推進に多大な御協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

さて、千葉県では、「～千葉の未来を切り開く～『まち』『海・緑』『ひと』がきらめく千葉の実現」を基本理念とした新たな総合計画を昨年3月に策定し、「危機管理」、「産業・社会資本」、「医療・福祉」、「子ども」、「共生」、「自然・文化」の6つの事項について基本目標を設け、様々な施策に取り組んでいるところです。

これらの施策の一つとして、社会資本の適正な維持管理を掲げており、庁舎や県立学校などの県有建物については、「千葉県公共施設等総合管理計画」及び「千葉県県有建物長寿命化計画」により、施設の建替えや大規模改修等の長寿命化対策を推進することとしています。

現在、この計画に基づき、山武合同庁舎の建設工事、千葉リハビリテーションセンターや新千葉県立図書館・県文書館複合施設の設計等の営繕事業を着々と進めています。

県民への行政サービスの場である県有建物の整備に関しては、安全・安心で使いやすく親しみの持てる施設整備を図ることはもとより、国の「2050年カーボンニュートラル」宣言を踏まえた環境対策など様々な配慮が必要となります。

また、厳しい財政状況の中で長期的な視点に立ち、建設時のコストのみならず維持管理コストを含めたライフサイクルコストをいかに縮減し、かつ長期間使用可能な建物の整備を実施していくかが重要な課題となっています。

これらの課題に的確に対応し、良質な県有建物を整備していくためには、豊富な経験と高い技術力を有する貴協会の御協力が必要と考えております。会員の皆様におかれまして

は、日頃から、最新技術の研鑽や若手技術者の育成、安全管理の徹底等に励まれていることと存じますが、今後も引き続き、電気設備業界のリーダーとして千葉県の営繕事業の推進に御協力いただき、県民生活の安全確保、公共福祉の増進、さらには地域産業の振興等に御尽力いただきますことをお願い申し上げます。

近年の建設業を取り巻く環境は、若手入職者の減少や技術者・技能者の高齢化が進行しており、将来の建設業を支える担い手の確保が急務となっています。また、建設業への時間外労働の罰則付き上限規制適用まで1年余りと迫っており、働き方改革の推進や生産性向上への取組等が求められています。

千葉県としましても、予定価格の適正な設定や適切な工期の設定、施工時期の平準化、週休2日促進工事の実施等の取組を引き続き推進することで、将来の担い手確保、未来ある建設業界の発展に貢献していきたいと考えております。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のさらなる御発展と会員の皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

山口 博



皆さま明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には当協会の活動に対し日頃から多大なご支援を賜り、この場を借りまして心から御礼申し上げます。

去る 2020 年当初から対応に追われてきました新型コロナウイルス感染症に対しましては、昨年は、「With コロナ」という発想のもとで、経済社会活動も様々な安全対策を講じながら旧に復していこうという取り組みが進み、わが協会においても、JECA FAIR（電設工業展）や会員大会を所要の安全対策を講じながら 3 年ぶりに開催することができました。まだ、従来のスタイルには完全には戻れないもののこれらの催しを開催することにより、関係者がフェイストゥフェイスで一堂に会し交流することのありがたさ、貴重さを改めて感じることができました。

本年、わが協会にとっての最も重要な課題は、「働き方改革の推進」です。労働基準法の「時間外労働の規制強化」の建設業への適用もいよいよ明年 4 月に迫ってきました。わが電気設備工事業も建設業の一翼として、社会のインフラを守り、国民の豊かな経済社会生活を創造するエッセンシャルワークです。この役割を果たすためには、必要な人材を確保し、将来にわたり持続可能な産業として成長していくことが必要です。将来を担う人材にとり魅力的な働きを提供するためにも、これらの課題を着実に達成していかなければなりません。

このため、昨年の当協会の会員大会決議においては、「持続可能性に満ちた（サステイナブルな）事業発展のため“チャレンジ”を続けよう！」をスローガンに、

1. 令和 6 年 4 月に迫った「時間外労働の規制強化」を見据えての働き方改革の加速（そのアプローチとしては）
 - ・現場の「4 週 8 休制」に向けた、ロードマップの作成
 - ・施主・発注者を含めた工事施工関係者との合意形成

- ・労働基準法の規制内容の再確認と対応準備

2. 未来を担う人材に魅力ある働きを提供

(アプローチ)

- ・電設業界の魅力の一層のアピール
- ・若い働き手にとっての魅力再発見
- ・働きがい、生きがいを感じる事が当たり前職場づくり

3. 「現場ひとつひとつから」の働き方の見直し

(アプローチ)

- ・適正な工期の設定、資材価格等の変動を反映した適正な請負価格の形成
- ・生産性の向上による業務の効率化
- ・多様な人材の活用による業務の活性化

を決議内容といたしました。

どの項目も、わが業界みずからの意識改革と前例にとらわれない取り組みが必要となつてきますし、また、事業のパートナー、関係者の方々のご理解とご協力も欠かせません。高い意識のもと、強い決意をもって行動していく必要があります。

皆様にも、このような状況をご理解いただき、ご支援ご協力いただければ幸いです。

結びに、今年の干支は「癸卯（みずのと・う）」です。「これまでの努力が花開き実り始めること」を意味しております。干支にあやかり、本年が皆様の飛躍・向上の年となることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



1年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第60回通常総会

開催日時、場所	内 容	出席者・対象等
令和4年 5月26日 オークラ千葉ホテル	第60回通常総会 ・第1号議案 令和3年度事業報告について ・第2号議案 令和3年度収支決算の承認について ・第3号議案 令和4年度事業計画について ・第4号議案 令和4年度収支予算について ・第5号議案 任期満了に伴う役員改選について	出席 35社 議決権 51社 委任状 18社 計 104社



第 60 回通常総会懇親会

開催日時、場 所	出席者・対象等
令和4年 5月26日 オークラ千葉ホテル	会員30名、 賛助会員27名、 来賓16名 計 73名



地区別会員交流会



開催日時、場 所	地 区 名	出席者
11月25日(金) 東天紅	千葉・市原地区 地区担当理事:小峯 健一	会員 9社 10名
令和5年 2月 7日(火) 上田別館	東葛・葛南地区 地区担当理事:會田 広之	
11月28日(月) ホテルウェルコ成田	北総・東総・山武・長生地区 地区担当理事:中村 和彦	会員 8社 10名
未定	夷隅・安房・君津地区 地区担当理事:黒木 健一	

三県連絡会議

開催日時、場 所	内 容
11月18日(金) ローズホテル横浜	(神奈川県電業協会)・脱炭素社会に向けた電気工事について (千葉県電業協会) ・若手技術者、女性技術者の位置づけについて (埼玉県電業協会) ・物価スライドについて ・人材確保について

出席者・対象等

千葉県	4名
神奈川県	6名
埼玉県	5名



千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
11月26日(土) 県立東総工業高校	・工業高校総合技術コンクール 審査員派遣 ・電気工事を含む10部門による 競技 ・大会参加者 県内11校14名(電気)	審査員 6名 ※千葉県電気工 事工業組合と 合同派遣	9/9 事前打合せ 10/17 事前打合わせ



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

南山 和也



新年あけましておめでとうございます。

防災・渉外委員会の令和4年の活動についてご報告申し上げます。

コロナ禍が長引いてはおりますが、世間は少しずつウィズコロナへと動きだしたおかげで、社会活動への制限が少なくなってきました。

防災としては、協会独自の伝達訓練も例年通り行い、県との合同訓練は現地出動も伴う形で実施されました。また、防災研修会では、技術・人材委員会の協力のもと、安全研修会の終了後にオンラインでの配信で「当協会の防災活動について」の説明を改めてすることができました。

渉外としては、分離発注の要望なども兼ねた県への異動挨拶も各出先事務所に訪問にて実施し、昨年は実施出来なかった「県営繕課との意見交換会」も今年度は実施することが出来ました。

当協会としては、分離発注での工事発注を継続的に発注者に要望しつつありますが、昨今は公共事業の発注形態が多様化しています。具体的には、設計・施工の一括発注であるデザインビルド、民間資本を活用した設計・施工・維持管理・運営までの一括発注であるPFI、道路灯のLED化などにあったようなリース事業、省エネによる将来のコストメリットを原資としたESCO事業などがあります。

また、資材価格の高騰や電気機器の納期がかかる・納期が明確にならないなどの問題が生じています。分離発注・工事発注を要望していくことに加えて、このような背景に対しての要望もしていく必要もあると感じておりますが、多くの会員の方々の平等・公平な要望事項を固めていくには、まず、会員皆さんが何を期待するのかといった情報が伝わってくる必要があります。

コロナ禍により、当協会の会員皆さんの声が伝わってこない期間が長かったのですが、今年は総会懇親会が開催され、地区別会員交流会も久方ぶりに開催されるなど、徐々に会員相互、協会内のコミュニケーションも再開できていると思います。皆様の各地区の情報も徐々に協会に伝わってくると思いますので、今後の渉外活動に生かしていければと考えております。

末筆ながら会員の皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。本年も協会活動へのご協力をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

(1)災害防止事業

①震災訓練等

開催日時、場所	内容	出席者・対象等	備考
令和4年 8月25日	協会独自の情報伝達訓練	全会員 110社	

9月 9日	千葉県県土整備部との 合同震災訓練	本 部 4名参集 出先対応 11名実働	県内全域
-------	----------------------	------------------------	------


②県出先機関防災説明

実施日	内 容	出席者・対象者	訪問先
令和4年 4月 1日	災害応急対策組織及び災害応急業務について	会員109社	県出先機関21事務所 ※書類送付
6月～7月	・災害応急対策組織及び災害応急業務についての説明 ・担当施設調査報告	地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長、事務所隊長	県出先機関21事務所 (異動挨拶同日実施) ※一部郵送対応

③その他災害応急対策に係る事業

実施日	内 容	出席者・対象者	備 考
令和4年 8月 5日 ZOOM 配信	防災研修会 ・当協会の災害防止事業について	会員 38社48名	(安全研修会・同日開催)

(7) 公共工事発注機関への陳情・提言等事業

月 日	陳 情 内 容	陳 情 者	陳 情 先
令和4年 6月～9月	県出先異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について	地区担当理事 防災・渉外委員、 防災隊長他	県出先機関 ※一部郵送対応
7月 5日	役員改選に伴う挨拶まわり	会長、副会長2名 常任理事1名、常務	副知事、 県土整備部長 他
11月10日 県庁南庁舎 会議室	県営繕工事に係る意見交換会 ・工事着手後に設計内容の変更を行う場合の対応について ・週休2日制にあたっての発注条件について ・週休2日促進工事において、他の工事に起因して現場閉所が認められなかった場合の措置について ・本庁発注物件の氏名理由における地域性の考え方について ・材料の遅延等に起因した工期延長に際しての管理及び検査について ・若手技術者の育成及び女性技術者について	会長、副会長2名、 常任理事1名、常務	県土整備部 営繕課、施設改修課、 都市整備局住宅課、 技術管理課 

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。

委員会報告 技術・人材委員会

委員長

朝生 勇



新年あけましておめでとうございます。

技術・人材委員長の朝生でございます。当委員会の令和4年度の活動についてご報告いたします。

1級電気工事施工管理技士講習会については、1次検定・2次検定講習会をコロナ禍のため、感染予防対策をしっかりと行ったうえで対面講習会を4月・8月に無事に開催することができましたが、1次検定試験の合格率は、全国38.3%・協会24.2%と協会実施の講習会の方が全国よりも低い結果となってしまいました。合格率上昇に向け検討していきます。

安全研修会・経営研修会も新型コロナウイルス感染症の予防対策としてZOOMによりオンライン配信にて開催しました。

安全研修会では、平時において、「想定内を増やして想定外を減らすこと」について具体的に考え、情報共有し、最大限に安全確保の見識を深めました。

経営研修会では、「建築・設備施工管理CPD制度について」をテーマに、CPD制度とは何か、当業界に関係する建築・設備施工管理CPD制度、CPD制度の諸手続き、経営事項審査について見識を深めました。CPD制度加入後のフォローが大切になると思いますので、講習会情報を配信していきたいと思えます。

賛助会員との情報交換会も3年ぶりに賛助会員14社24名と多数の出席を賜り開催しました。対面での意見交換も大事さを改めて感じました。

今後も、DX(デジタルトランスフォーメーション)等変革を求められている状況です。会員企業様に有益な情報提供できるように努力してまいります。引き続き会員企業様の協会活動にご協力をお願い申し上げます。

末筆ではございますが、会員企業様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、委員会報告とさせていただきます。本年もよろしくお願いたします。



(3)講習会事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	結果等
令和4年 4月21日、22日 千葉県経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定学(第一次検定)試験 受験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 27名 非会員 9名	筆記試験合格率 全国 38.3 % 協会 24.2 %
8月24日 千葉県経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定(第二次検定)試験受 験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 11名 非会員 0名	

(4)事故防止業

①安全研修

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和4年 8月5日 ZOOM 配信	安全研修会 テーマ:「企業の現場&職場の防災知識」、会社 の「事業と財産」、社員の「生命・身体・生活」を守る ための初期対応ポイント」 講 師: サニー・カミヤ 氏 安全保障・危機管理コンサルタント	会 員 38社 48名 (防災研修会・同日開催)

(5)資機材調査研究事業

①資機材調査研究

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和4年 11月10日 京成ホテルミラマール	賛助会員との情報交換会	役 員 8名 技術・人材委員 2名 賛助会員 24名

(8)人材の確保及び育成事業

開催日時、場 所	内 容	出席者数
令和4年 11月22日 ZOOM 配信	経営研修会 テーマ:「建築・設備施工管理 CPD 制度について」 講 師: 高橋 光明 氏 (一財)建設業振興基金 研究次長	会 員 29社39名



委員会報告 総務・企画委員会

委員長

青木拓也



新年あけましておめでとうございます。

総務・企画委員会の令和4年度の活動について御報告致します。

前半の行事に付きましては、記念すべき第60回通常総会が対面式で行われました。また総会後の懇親会も規模を縮小した形式ではありましたが、千葉県知事熊谷様にも御出席賜り、3年ぶりに開催することが出来ました。改めまして、ご出席頂きました会員の皆様にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。有難うございました。当委員会の学校訪問も徐々に元の姿を取り戻し、学校へお伺いをし、直接対面で行う事が出来るようになりました。地区別会員交流会についても、今年度は各地区任意の時期に開催を行う事となりました。久しぶりに御顔を合わせる方も多く有意義な情報交換の場になったかと思えます。

後半の行事に付きましては、ポリテクカレッジ及び工業高校への出前授業例年通り行ってきました。また、CCIちばからの要請にて各小中学校3校への出前授業も行ってきました。また、工業高校・技術コンクールに関しましては、例年と同時期の11月にコンクールが行われました。当委員会より審査委員数名が派遣され、参加してきました。

今年度も、会員皆様のお役に立てる委員会活動を行っていただけるよう努めて参りますので、当委員会の活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、元の姿に戻りつつある世の中で忘年会や新年会等お酒を嗜む機会が増えて来ております。皆様方に置かれましてはどうかお体を御自愛くださいますようお願い申し上げます。

(2)就労支援事業

開催日時、場所	内容
令和4年	
1月27日 東総工業高校	出前講座
3月14日 市川工業高校	出前講座
4月 全会員向け	人材育成・確保に関する調査の実施(採用状況、インターンシップ受入れ等)
6月 県内工業高校等9校	人材育成・確保に関する調査の実施結果及び各学校の就職率等についての訪問調査
10月7日 ポリテクカレッジ千葉	出前講座
10月13日 野田市立二川中学校	CCIちばからの要請による出張授業(電気)
12月1日 千葉市立さつきが丘東小学校	CCIちばからの要請による出張授業(電気)
12月2日 我孫子市立湖北中学校	CCIちばからの要請による出張授業(電気)

広報関係

内容
<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・建設新聞各紙への取材依頼 ・1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の一般募集 ・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局

地域に喜ばれる仕事を目指して



榎本電機（株）

代表取締役 鈴木 孝



新年明けましておめでとうございます。

私は、代表取締役に就任してからもうすぐ1年を迎えます。就任前の1年を振り返りますと、令和3年10月に国土交通大臣顕彰（建設マスター）を受賞し、同年12月弊社新社屋完成、そして令和4年2月に代表取締役就任と大きな出来事が続いた印象深い1年でした。

現在は、会社の代表としての業務と現場の業務との忙しい日々を過ごしています。また、資格取得に関しても、社員と共にチャレンジを続けています。代表となり立場は変わって思うことは、現場業務に携わる時に感じるチームワークの良さを（弊社の強みでもあります）大事にしたい、続くよう努力したいという思いがより一層強くなりました。

私が社員として入社して様々な現場を経験し、仲間と助け合いながら業務を完了させたことなど、これらの経験を通して培ったものをこれからも業務に活かしていこうと思います。

弊社は今年で創立53年を迎えますが、前代表取締役の榎本正夫会長から引き継いだ「どんな仕事でも最善をつくし、信頼される会社」・「地域に喜んでもらえる仕事をする会社」を目指して行きます。

今後とも皆様方のご指導をよろしくお願い致します。



社屋前にて社員一同勢揃い。精鋭達です。

健康維持への取り組み



(株) 鎌田電機

代表取締役 鎌田 浩 茂



健康寿命と言われる言葉があります。日常生活が制限されることなくどれだけ元気に生活できるか。若い頃から運動をしていた人でさえ、年齢と共に体力は低下していくのですから、今まで何もしてこなかった私としてはなおさらです。そんな私がここ最近少しずつ意識し始めた、健康を維持する取り組みについて、ご紹介させていただきます。

何かひとつのきっかけで物事が進んでいく。まさにそのような感じでした。3年前ご縁がありスポーツジム新築の電気工事に携わることになり、これを契機と入会をしました。

最初はトレーナーに教わり、効果的なトレーニングの仕方などを学びました。ジムにある器具はどれも最先端であり、一つ一つが違う筋肉を刺激することに驚いたものです。並行して、自宅でもできるストレッチも始めました。40代以上であれば、筋肉をつけることよりも筋肉を落とさないことのほうが大事とのことでした。

ジョギングも始めました。最低でも週1回は走るようにしています。ウォーキング程度から早歩き、ランニングまで、スピードをいろいろと変化させ試しています。たっぷりと汗をかくことができ気持ちいいです。

軽スポーツとしてバレーボールの練習にも参加するようになりました。年1回の大会に向けPTA役員として関わっており、少しでも体を動かせばいいかという思いでしたが、これがなかなかいい運動。期間限定ではあるもの、楽しく参加させてもらっています。

食事の習慣にも目を向けるようになりました。糖質や塩分の取りすぎに気を付け、野菜や豆、発酵食品などを多く取るようになりました。週1回の休肝日を設け、アルコールの量も気にかけています。新陳代謝が鈍くなってくるので、食べる量も段々と抑えるようになりました。食生活の改善により免疫をつけるのが、一番の健康法なのではないかと思うようになりました。

そして睡眠。寝る前にマインドフルネスという手法を試すようになりました。心を落ち着かせ、呼吸に集中する。余計なことは考えずリラックスし、良質な睡眠への導入へとつながります。このことにより、実際朝の寝起きが良くなったと感じます。ストレスの予防と解消にも効果があると言われております。

以上、運動・食事・睡眠の大切さについて考えるようになりました。この3つをできる限りバランス良く続けていきたいと思っております。

日本電設工業協会・ 会員大会（千葉）を終えて



友信電気（株）

代表取締役 五十嵐 治美



日本電設工業協会令和4年度の会員大会が千葉県浦安市舞浜にて開催されました。

新型コロナ禍の影響で、令和2年度名古屋大会、令和3年度熊本大会の2つが続けて中止となる中、千葉大会が本年無事に開催・終了できたのは何よりの喜びです。

この大会は9つある支部が輪番にて主催する全国大会で、通常500名参加を予定するところですが、今大会ではコロナ感染防止対策に配慮して8割の400名参加にて行われました。千葉地元の来賓として、千葉県知事の熊谷俊人様、浦安市長の内田悦司様をご臨席され、千葉県の良さをアピールしていただきました。また、記念講演会では政治ジャーナリストの田崎史郎様が興味深いテーマの「日本政治の舞台裏」について講演され、あっという間の1時間でした。大会終了後には懇親会が行われ、千葉STARJETSによるアトラクションなどが披露され、盛会裏に終えることができました。

続いて、翌日は「会員ゴルフ大会」が姉ヶ崎カントリー倶楽部で開催され、90名の会員が参加し優勝を競い合いました。早朝より私たち千葉県電業協会のスタッフで、受付、案内、写真撮影、表彰式等の設営を行い、滞りなく皆さんを帰路の東京駅、もしくは羽田空港へと送り届けました。お手伝いいただいたスタッフのみなさん、お忙しい中本当にありがとうございました。

本年、この千葉県で行われた会員大会は、次回は関西支部主催の大阪大会へと引き継がれます。千葉県電業協会の創立60周年という記念すべき年に、全国大会を千葉大会として開催できたことを誇りとし、次世代の会員たちに引き継がれていくことを期待します。

